

# 令和3年度 保育士の自己評価(自己チェック)

今年度の自分自身の業務を振り返り、自己チェックを行いました。(対象:保育士・保育補助職員)  
方式は、自己評価票への記入を採用しました。また、各チェック項目は『レインボー保育園職員マニュアル』等を基準としました。

(数字:%)

	項目	よくできた	できた	あまりできなかった できないことがあった	できなかった	回答無し
1	遅刻をしないように余裕をもって出勤する	64.29	25.0	7.14	3.57	0
2	(園児、保護者、職員等に対して)挨拶は笑顔で快く元気な声です	53.57	46.43	0	0	0
3	相手と向き合い目をきちんと見て挨拶する(子どもに対しては、相手の目線までおりる)	46.43	53.57	0	0	0
4	言葉づかいは、やさしい言葉で対応する	50.0	50.0	0	0	0
5	子どもに対して、呼び捨てや傷つける言葉は絶対につかわない	57.14	42.86	0	0	0
6	保護者に対しても友達言葉はやめて、礼儀正しい言葉をつかう	46.43	53.57	0	0	0
7	職員間でも園内では先生同士ということをわきまえ、丁寧な言葉をつかう	39.29	57.14	3.57	0	0
8	清潔で活動しやすい服装・身だしなみで業務にあたる	75.0	25.0	0	0	0
9	爪は短く切り、マニキュアはしない	96.43	3.57	0	0	0
10	突起のある指輪やピアスなどのアクセサリはつけない	92.86	7.14	0	0	0
11	授乳時は時計もはずし、子どもを傷つけないように配慮する	39.29	10.71	0	0	50.0
12	髪の毛の長い人は、結ぶなりして子どもに当たらないようにする	64.29	21.43	0	0	14.29
13	保育中は私語を慎み、いつでも子どもに手が届くような体勢をとる	25.0	67.86	7.14	0	0
14	保育室を空にしないよう声をかけ合い、子どもだけにしない	64.29	32.14	0	0	3.57
15	職員同士、正しくないと思ったことは注意しあう	3.57	42.86	46.43	0	7.14
16	怒鳴ったり、けなしたりせず、相手の立場に立って、きちんと話す	42.86	53.57	3.57	0	0
17	室内外・廊下・階段等、ゴミをみつけたら拾い、棚の整理なども心掛ける	28.57	71.43	0	0	0
18	子どもに対して、感情的に頭ごなしに大声で怒鳴らない	64.29	32.14	3.57	0	0
19	子どもに対して、絶対に手はあげない	85.71	14.29	0	0	0
20	子どもに対して、危険をとまなうことや約束を破ることなどはきちんと向き合い叱る	28.57	71.43	0	0	0
21	だらだらと叱らず、簡潔に分かりやすく叱る	25.0	71.43	0	0	3.57
22	年間で計画したことを、子どものその時の発達に合わせて、見直しをもって行う	3.57	60.71	3.57	0	32.14
23	保育について、子どもを長時間待たせないように準備しておく	28.57	50.0	0	0	21.43
24	全職員が一貫性(お互いが気をつけること、目標とするもの)をもって保育する	10.71	64.29	3.57	0	21.43
25	保育中に起こった怪我や事故、子どもの体調変化は些細なことでも報告する	67.86	32.14	0	0	0

(数字:%)



	項目	よくできた	できた	あまり できなかった	できなかった	回答無し
26	子どもの人権に配慮するとともに、それぞれの違いを認め尊重している	35.71	60.71	0	0	3.57
27	子どもたちの中に人を信頼する気持ちが育つような関わりをしている	21.43	71.43	0	0	7.14
28	保育の主役はつねに子どもであることを心に留めている	53.57	46.43	0	0	0
29	自分の気持ちをうまく表現できない子どもの心情を汲み取ろうとしている	28.57	64.29	7.14	0	0
30	保育士自身が積極的に子どもと関わり遊んでいる	39.29	53.57	3.57	0	3.57
31	おもらし等をしたとき優しく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮している	53.57	35.71	0	0	10.71
32	午睡などでは、子どもが安心して心地よく休めるよう配慮している	42.86	39.29	0	0	17.86
33	休息時間に、眠くない子どもへの配慮をしている	21.43	53.57	3.57	0	21.43
34	子どもの病気やアレルギーについて、確認・対応を行なっている	50.0	46.43	0	0	3.57
35	和やかな雰囲気の中で、子どもが楽しく食事に向き合えるよう配慮している	21.43	64.29	3.57	0	10.71
36	無理に急かしたりせずに、子どもの自分ですようとする気持ちを大切にしている	17.86	71.43	7.14	0	3.57
37	ひとりひとりの子どもをよく観察し、その場に適した言葉がけをしている	21.43	75.0	0	0	3.57
38	事故の予防に努めた保育を行なっている	42.86	57.14	0	0	0
39	障がいのある(と思われる)子どもの保育環境を整え、保育内容や方法に配慮している	21.43	53.57	3.57	0	21.43
40	保護者の不安や悩みに寄り添い、支援するよう心掛けている	17.86	53.57	7.14	0	21.43
41	子どもや保護者の個人情報やプライバシーに配慮している	60.71	35.71	0	0	3.57
42	虐待を疑われる子どもの情報を得たとき、関係機関に照会・通告する義務があることを知っている	100.0	0	0	0	0
43	苦情解決の仕組みを知っている	67.86	0	0	28.57	3.57
44	不審者が侵入したとき、自分はどのように対応するか分かっている	85.71	0	0	14.29	0
45	他者が読んでも分かりやすい文書作成・記録を心掛けている	14.29	60.71	3.57	0	21.43
46	他の保育士との信頼関係づくりに努めている	28.57	60.71	0	0	10.71
47	他の職種(保育補助、栄養士、事務等)との信頼関係づくりに努めている	32.14	57.14	0	0	10.71
48	保育に関わる知識や技術の向上に努めている	17.86	57.14	17.86	0	7.14
49	保育士としての人間性を豊かにするための自己研鑽に努めている	17.86	42.86	32.14	0	7.14
50	自分自身の体調維持・健康管理に努めている	46.43	42.86	10.71	0	0

設問⑮『職員同士、正しくないと思ったことは注意し合う』では、「あまりできなかった」との回答が昨年度は31%だったのに対し、今年度は46%に増加した。どの立場の職員も意見表明しやすい職場風土の醸成が必要と考えられる。同時に、この長引くコロナ禍において、はたして“正しさ”とは何かという価値観の大きな変換も影響していることが想像される。自分自身のものさしが必ずしも他者と同じではないという前提の中で、それでも“自分の考えはこうだが、あなたの意見はどうだろう”という意見交換が容易にできる雰囲気を築いていくことが求められている。設問⑯『子どもに対して、感情的に頭ごなしに大声で怒鳴らない』では、「よくできた」との回答が、昨年度は48%だったのに対し、今年度は64%に上昇した。一方で、「できないことがあった」との回答も一部あった。職員各自が心身のコンディションを整えて現場に臨むよう心がけるとともに、職員間でサポートし合いながら、「よくできた」の回答が100%になることを目指していきたい。設問⑰『保育中に起こった怪我や事故、子どもの体調変化は些細なことでも報告する』では、「よくできた」との回答が、令和2年度では51%だったのに対し、今年度は67%に上昇した。新型コロナウイルス感染症の度重なる流行にともない、子どもの体調に対する観察意識が高まったものと推察される。感染症流行がない時期であっても、こうした意識は大切にしていきたい。設問⑱『虐待通報義務等』に対しては、昨年度と同様「よくできた」との回答が100%であり、高い意識がうかがえた。引き続き、職員会議等で関連する話題を取り上げ、周知していく。設問⑲『苦情解決』では、仕組みの周知が徹底されていないことが浮き彫りになった。あらためて、周知を図っていく。設問⑳『保育技能向上や自己研鑽に関しては、取り組みが十分できなかったとの回答が一定数あった。園内研修については、オンラインを活用しながら充実度を深めた1年であったが、引き続き研修に取り組みやすい環境づくりに努めていきたい。

※保育補助職員は、保育に関する一部の設問には「回答無し」としています



## 令和3年度 保育所の自己評価

### テーマ：『怒りの感情のコントロールについて考えてみる』

長引くコロナ禍において、先行きの見えない不安から感情のセルフコントロールが難しくなりがちな状況があります。こうした背景がある上に、対人支援の現場である保育所では、ストレスが溜まりやすく、いかに自身の感情を抱えていくかが重要となっています。今年度の保育所の自己評価では、おもに“怒り”の感情との向き合い方について考え、職員自身のセルフケアや周囲の人（園児、保護者、他職員等）との良好な関係づくりの参考としました。

日 時：令和4年3月26日（土）9:15-10:40

場 所：本園2階（もりのへや）

参加者：保育士（11名）・園長・副園長

方 法：3グループづくり、テーマ①～④に沿って個人ワーク・グループワークをすすめる。

テーマ：①怒ることのメリット・デメリットを考え、発表する

②ここ1週間を振り返り、怒ったことをグレード別書き出して、発表する

③自身の怒りの傾向を視覚化してみる

④自分の常識と他者の常識が異なることを体験する

#### 【個人ワーク・グループワークを通して感じたこと、考えたこと】

- ・今回の研修を通して怒る時に感じるメリット・デメリットは、みんな同じような感情ということを実感しました。自分の感情を客観的に見て、ひと呼吸おいて子ども達に声掛けをしたり、コントロールできるよう努めていきたいです。
- ・今回のグループワークで改めて1人1人の考え方が違う事、それを受け入れながら日常を過ごす事が自分にとってプラスになると思った。体調管理を重視しながら心身共に健康でいる事を大切にして今後も保育に努めていきたい。
- ・怒る基準は人それぞれだが、自分の体調・傾向を知ることでコントロールできる所があると思うので、日々考えていきたいと思った。（体調に大きく左右される部分が自分にはあるので、意識的に整えるようにしていきたい）
- ・1人ひとり怒るポイントも違うし、受け止め方も違うので、言い方や相手の気持ちなどを考える良い機会になった。家でわがままな分、園で仕事に集中出来ているのかな…と、思いました。人間関係が悪くならないよう（雰囲気も）気をつけようと思いました。
- ・怒ることに対してまず自分の気持ちを知ることが大切なんだと感じた。上手く怒ること、怒らなくてもよいことなど自分の気持ちを上手にコントロールできるとよいと感じた。
- ・書き出すことで今の自分の気持ちを知れたし、少し発散できるように感じたので、書くということにも目を向けたかった。
- ・自分の怒りに対してのグラフ化が見れて、改めて考えることが出来た。ふり返って思い出せないでいたが、小さなイラ立ちはあると思うので、出さないように気を付けたいと思いました。
- ・自分の怒りの基準からずれると相手に対して怒ってしまうこと、納得できました。考え方を変えられるようにしたいです。
- ・自分の性格を見直すことが出来た。捉え方は人それぞれなので、そう思うことも必要だと思った。

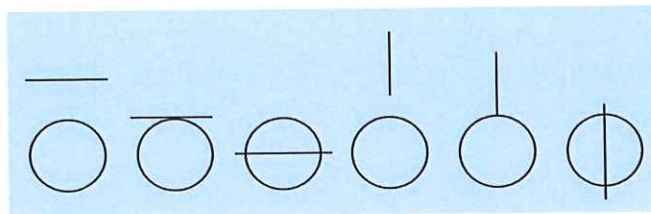
- “自分自身に声を掛ける”という話が印象に残りました。（そんなこともあるよな…、怒りに点をつける…）様々な場面で活かしていきたいと思います。
- 自己分析してみることで、見えてきたことが多くあったと思う。なかなか“自分の事を考える”という機会がないので、良い経験ができた。傾向と攻撃性のグラフも、自分に子どもがいなかった時はもっと大きかったと思う。人は変わるものだと改めて感じた。
- 文字にして書いてみて、改めて怒りっぽい人間かなと思いました。自分でも「こうでなくては」という気持ちは割と強く、そこをうまく和らげられるように意識するようにしています。今後も自分自身と向き合って、まあ、いいか！と流せることを増やしていけたらと思っています。
- 研修を通してグループワークでは、自分も周りもどんなことを感じ、考えているかが知れた。人それぞれ意見が違うのはあたりまえなので、そこをうまくコミュニケーションをとって保育に生かしていけるかを考えながら、次年度のフロアーでも向き合えるように心掛けていきたい。

### 【グループワークの様子】



### 【まとめ】

・今回のワークのなかで簡単な実験をしました。『まず丸をかくて、その上に線をかくてください』という指令を各参加者が手元の白紙にどのように描くか、というものです。各人が描いたものは、下図のようにどれもばらばらで、図柄が一致したグループはありませんでした。伝え手が頭の中で描いているイメージが、そのまま受け手に伝わるわけではないこと、受け手によって解釈が異なること、つまりは、自分の常識が相手にとっての常識とは限らないことを皆で確認した瞬間でした。自分の中にある「〇〇はこうあるべき」という価値観と、そうはなっていない現実とのギャップが、怒りの感情や不快感を生み、結果としてネガティブな言動につながったり、他者との関係悪化に陥ることがあります。今回のワークでは、自分の考え方や行動の傾向を知ること、目の前の怒りから意識を逸らしたり、怒る基準を見直したり、行動や態度を変えるきっかけとすることができることを学びました。令和4年度はこのことをふまえながら、園児・保護者・他職員など、自分自身をとりまく人たちとしっかりとコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていくようにすすめていきたいです。





## レインボー保育園 令和3年度 保護者アンケート結果

当園の保育の質の向上ならびに円滑な運営のため、保護者のみなさまにアンケートのご協力をいただきました。集約の結果は下記の通りとなっております。いただいた貴重なご意見は、次年度以降の保育・運営に生かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

実施期間	アンケート方法（各項目について、評点を記入）				回収率
	十分できている	おおむねできている	改善を要する	わからない/無回答	
令和3年2月8日～19日	A	B	C	D	57.14%

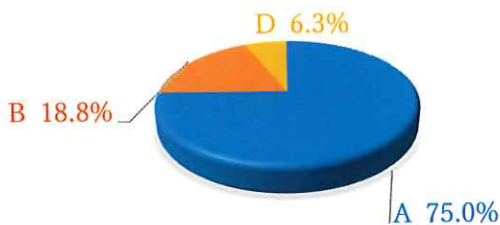
1 入園説明会等で保育園の園目標や方針が説明されていますか？



2 子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じますか？



3 個人情報の扱いについて、入園説明会等で説明され、守られていますか？



4 子どもがのびのびと意見や意思を表現できるような保育が行われていますか？



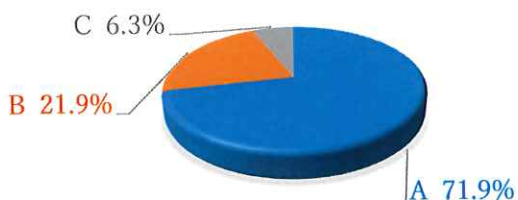
5 遊びを通して、友達や保育士との関わりが十分もてるよう配慮されていますか？



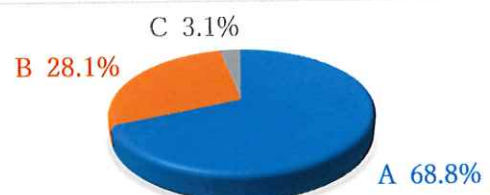
6 子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気・おもちゃ等が工夫されていますか？



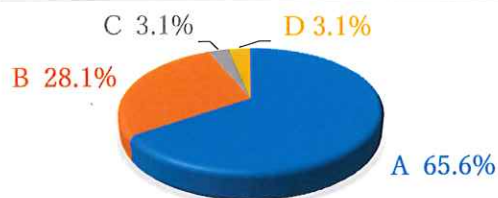
7 園の行事や保育の内容などが知らされていますか？



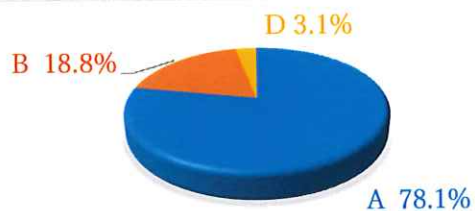
8 意見や要望などの対応ができていますか？



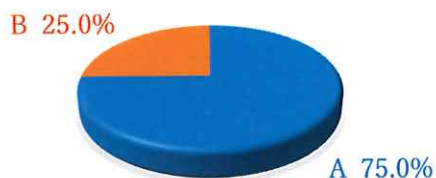
9 子育て相談など、話しやすい雰囲気がありますか？



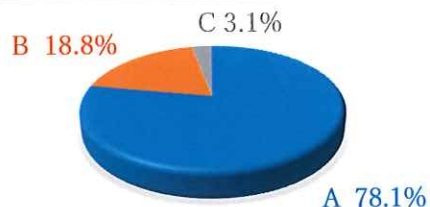
10 施設が安全で清潔な心地よい空間となっていますか？



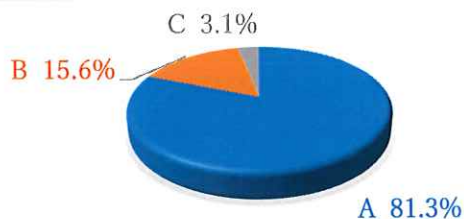
11 給食が楽しく食べられるよう工夫されていますか？



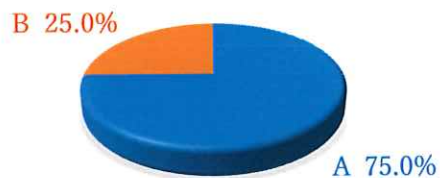
12 子どもの体調への気配りや怪我等に対して配慮がされていますか？



13 感染症の発生状況や注意事項など、健康に関して情報提供されていますか？



14 保育園に対する総合満足度は？



#### <その他>

- ・情報提供のデジタル化に関すること
- ・保育士の振る舞いや子どもへのかかわり方に関すること
- ・進級に際しての持ち物等に関すること
- ・感染症対策に関すること

その他として、おもに上記の事項に関するご意見やご要望をいただきました。

施設内において改善策等を検討していきたいと思えます。

貴重なご意見、アンケートへのご協力、ありがとうございました。